

農山漁村発イノベーション等整備事業(定住促進対策型、交流対策型)事業実施計画 (長野県東御市祢津御堂地区活性化計画)

計画主体名	計画期間
東御市	令和4年～5年

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
東御市産業経済部6次産業化推進室	0268-75-2016	0268-64-5881	6jika@city.tomi.nagano.jp

【記入要領】

- 計画主体名
- ・市町村名にはふりがなをふること。
 - ・共同で作成する場合は、すべての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記載すること。
- 計画期間
- ・計画期間は活性化計画の計画期間を記入すること。
- 連絡先
- ・共同計画の場合は行を追加し、すべての計画主体の連絡先を記入すること。
- メールアドレス
- ・当該交付金に係る連絡に利用できるメールアドレスを記入すること。

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	事業活用活性化計画目標の設定根拠
農林水産物等の販売・加工促進	人口の減少にともなう農家戸数の減少と荒廃農地の増加により、営農意欲の低下が懸念される一方で、ワイン用ブドウの栽培に適した気候であることからワイン用ぶどうの栽培が盛んになってきているため、新たに醸造施設と地域産物販売促進施設を整備し、地域産物の加工・販売による農業の振興とワイン産業を基軸とした地域の活性化を図る。

II 評価指標

第1評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
	地域産物の販売額の増加	82,428千円
第1評価指標の設定根拠		

(単位:千円)

	H30	H31	R2	合計	R6	R7	R8	合計	
既存ワイナリーAの販売額	38,614	40,500	51,817	130,931	43,643	43,644	43,644	130,931	施設規模が変わらないことから 現状値期間の平均値で算出
既存ワイナリーBの販売額	41,000	40,200	29,900	111,100	37,033	37,033	37,034	111,100	
醸造施設(新ワイナリー)でのワイン販売額	-	-	-	-	59,967	77,888	88,847	226,702	事業者の計画から算出(自社醸造ワインの販売)
地域産物販売施設での販売額	-	-	-	-	5,781	6,861	7,941	20,583	来場者によるワイン購入や試飲による販売額、イベントでの売り上げから算出した。
(内訳)									
(参考値:レジ通過者)	-	-	-	-	1,400	1,680	1,960		市内類似施設のR2年間レジ通過者数2,800人を参考とし、類似施設は日帰り温泉施設と併設であることから数値補正し、1年目はR2の0.5倍、2年目0.6倍、3年目0.7倍で見込んだ。(単位:人)
ワイン購入・試飲					3,780	4,536	5,292		レジ通過者の60%がワイン購入・試飲するとし、単価をワイン1本3,500円+ワイン3種の試飲(300円×2種)+軽食400円=4,500円とした。 【レジ通過者×0.6×4.5千円】
ノンアルコール・グッズ販売					728	874	1,019		レジ通過者の40%がノンアルコールジュース等と地域産物・軽食を購入するとし、単価をノンアルコール300円+地域産物500円+軽食500円=1,300円とした。 【レジ通過者×0.4×1.3千円】
イベント					180	180	180		ワインを知るセミナーやテイスティングを行うイベントへの1回あたりの参加費を4,000円、年間の参加者数を45人とした。
オンラインイベント					200	200	200		ワインを知るセミナーやテイスティングを行うオンラインイベントへの1回あたりの参加費を5,000円、年間の参加者数を40人とした。
大型イベント					893	1,071	1,250		参加者の単価を試飲500円×5杯+軽食1,500円=4,000円とした。また来場者の30%がワイン2本6,500円を購入するとした。 (来場者 R6:150人、R7:180人、R8:210人) 【来場者×4千円+来場者×0.3×6.5千円】
合計	79,614	80,700	81,717	242,031	146,424	165,426	177,466	489,316	
				現状値				目標値	

第2評価指標(任意)	具体的数値目標								具体的数値目標の算出方法
	5,038名								
交流人口の増加	5,038名								【現状値】 既存ワイナリーおよびイベントへの来場者 11,960名 【目標値】 既存ワイナリーおよびイベントへの来場者数 15,117名 醸造施設(新ワイナリー)への来場者数 1,038名 地域産物販売促進施設への来場者 10,920名 合計 27,075名 目標値－現状値＝15,115名 1年間あたりの目標値 15,115÷3≒5,038名
第2評価指標の設定根拠									
(単位:人)									
	H30	H31	R2	合計	R6	R7	R8	合計	
既存ワイナリーAへの来場者数 (ワイン販売・見学・レストラン・カフェ・ボランティア)	2,900	3,400	3,200	9,500	3,483	3,800	4,117	11,400	地域産物販売施設の完成により本地区への来客者が増えることから、H30～R2の平均に対してR6:1.1倍、R7:1.2倍、R8:1.3倍で見込んだ。
既存ワイナリーBへの来場者数 (ワイン販売・見学・ボランティア)	370	660	700	1,730	634	692	750	2,076	
既存イベント(アウトドアイベント)への参加者数	-	260	470	730	517	547	577	1,641	地域産物販売施設の完成により本地区の認知度が向上することから、R6はR2の1.1倍、R7以降は30人ずつ増加するものと見込んだ。
醸造施設(新ワイナリー)への来場者	-	-	-	-	288	346	404	1,038	事業内容(ワイン販売・見学・ボランティア)が同様である既存ワイナリーBの来場者数を参考にH30～R2の平均に対して1年目は0.5倍、2年目0.6倍、3年目0.7倍で見込んだ。
地域産物販売施設への来場者数	-	-	-	-	3,045	3,640	4,235	10,920	施設でのレジ通過者や来場者数、イベント参加数などから算出した。 (以下内訳参照)
(内訳)									
来場者	-	-	-	-	2,750	3,300	3,850		市内類似施設のR2年間来場者数5,500人を参考とし、類似施設は日帰り温泉施設と併設であることから数値補正し、1年目はR2の0.5倍、2年目0.6倍、3年目0.7倍で見込んだ。
イベント	-	-	-	-	45	45	45		ワインを知るセミナーやテイスティングを行うイベントを年3回開催するとし、1回あたりの参加者を15人とした。
オンラインイベント	-	-	-	-	40	40	40		ワインを知るセミナーやテイスティングを行うオンラインイベントを年2回開催するとし、1回あたりの参加者を20人とした。
作業体験	-	-	-	-	60	75	90		ワイン用ブドウの収穫体験や作業体験を開催することとし、1回あたりの参加者を15人、R6:4回、R7:5回、R8:6回とした。
大型イベント	-	-	-	-	150	180	210		施設周辺一体で行う大型イベントとして御堂ワインフェスタ(仮)を年1回開催するとし、R6は150人程度の来場を見込み、知名度の向上にともない年々30人ずつ増加するものと見込んだ。
合計	3,270	4,320	4,370	11,960	7,967	9,025	10,083	27,075	
	現状値				目標値				

第3評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
地域産物のPR促進	30回	【現状値】0回 【目標値】地域産物販売促進施設でのイベント回数 R6 イベント5回+体験イベント4回=9回 R7 イベント5回+体験イベント5回=10回 R8 イベント5回+体験イベント6回=11回
第3評価指標の設定根拠 地域産物のPRを行い交流人口の増加を図るため、地域産物販売促進施設でのイベント(セミナー・テイスティング)と、ワイン用ブドウの芽かきや収穫の体験イベントを行う。		
評価期間(原則として3年間の効果発現状況を把握する期間)	評価報告予定年(評価期間の終了直後の9月末日まで)	
令和6年4月～令和9年3月	令和9年	

【記入要領】

全般

・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。

事業活用活性化計画目標

・事業活用活性化計画目標の項目は実施要領の別紙に掲げる項目から選択するものとする。

評価指標

・評価指標の記載に当たっては実施要領及び「事業活用活性化計画目標の評価指標の設定について」により記入すること。

Ⅲ 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望額 (千円)	交付額 算定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び 事業活用活性化計画目標との関連性	備考
地域連携販売力 強化施設	東御市柵津御堂 地区	醸造施設	1棟522.18㎡	R4	(株)カーヴ・ド・ミド ウ	161,546	68,832	1/2	68,832	地域連携販売力強化施設として、地区内で生産されたワイン用ブドウの醸造施設を整備し、地域産物販売促進施設で販売する地域産品としてのワインの生産を行い、地域産物の販売額増加を図る。	
地域連携販売力 強化施設	東御市柵津御堂 地区	地域産物販売促進施設	1棟158㎡	R4～5	東御市	71,280	22,910	1/2	22,910	地域連携販売力強化施設として、地区内で生産・醸造されたワインの販売を行い、地域産物の販売額増加を図るとともに、イベントを開催し地域のPRにつなげ、交流人口の増加を図る。	
合 計						232,826	91,742		91,742		

【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
 - ・創意工夫発揮事業である場合は、事業内容欄に一体として行う事業メニュー名及び一体的に行う必要性を併せて記載すること。
 - ・事業メニュー名欄には、実施要領の別表2の事業メニュー名を記入すること。
 - ・地区名欄には、事業の実施地区名を記入すること。
 - ・事業内容欄は、整備しようとする具体的な施設の内容を記載すること。
 - ・事業規模等欄は、施設ごとの棟数と床面積、林道や森林管理道等の場合は地区名と延長など、それぞれの事業内容に応じた事業規模を記載すること。
 - ・活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性欄は、これら目標を達成する上で、各々の事業の実施が必要な理由を記載すること。
 - ・「農泊」の取組を実施する場合には、備考の欄にどのように「農泊」と関連するかを明記すること。
- (※)「農泊」とは、農山漁村において、日本ならではの伝統的な生活体験や農山漁村地域の人々との交流を楽しむ滞在(農山漁村滞在型旅行)をいう。

IV 他の施策との連携に関する事項

連携する施策名	事業メニュー名	地区名	連携する施策と交付対象事業の関連性等
第2次上田地域定住自立圏共生ビジョン (定住自立圏構想推進要綱(平成20年12月26日 付け総行応第39号総務事務次官通知)第6に定 める定住自立圏共生ビジョンに基づく施策)	地域連携販売力強化 施設	祢津御堂地区	圏域における安定した産業基盤を形成するため、各種産業振興支援策 の充実・強化を図る施策には「特産品等の販売・PR促進」「農産物販路 拡大・6次産業化に対する支援」「ワイン等を活用した地域振興連携」が 挙げられている。
地域別農業振興計画	地域連携販売力強化 施設	祢津御堂地区	「地域別農業振興計画」における将来ビジョンにおいて、本計画が位置 づけられている。

【記入要領】

- ① 交付対象となる事業のうち、実施要領第6に掲げる施策と連携して実施する事業にあつては、連携施策名、連携施策の内容及び交付対象事業との関連性を記載すること。
- ② 連携する施策名には、実施要領第6に掲げる施策を記載すること。
- ③ 事業メニュー名欄には、実施要領の別表2の事業メニュー名を記載すること。
- ④ 地区名欄には、事業の実施地区名を記入すること。
- ⑤ 必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。

						備 考
令和〇年度			令和〇年度			
全体事業費	交付対象事業費	交付金額	全体事業費	交付対象事業費	交付金額	
円	円	円	円	円	円	
0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	